学期／Semester	2023年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	木／Thu 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	202305810030B2	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（環境）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	遠藤　愛子／ENDO Aiko		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	遠藤　愛子／ENDO Aiko		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	遠藤　愛子／ENDO Aiko		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	endoa▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	427		
担当教員TEL/Tel	095 819 2728		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	① 論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） ② 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ③ ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要が有れば随時指示する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門：担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	大教センター教員による演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第5回	グループ分け、テーマの決定
第6回	グループワークの開始（１）
第7回	図書館資料収集ガイダンス（オンデマンド）
第8回	グループワーク（２）
第9回	大教センター教員による演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第10回	グループワーク（３）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（４）
第13回	【7/10（月）5校時】 就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク（５）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）

学期／Semester	2023年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	月／Mon 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	202305810030B3	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（環境）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	大田　真彦／OTA Masahiko		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	大田　真彦／OTA Masahiko		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	大田　真彦／OTA Masahiko		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masahikoota▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は、▲を@に置き換えて送信して下さい）		
担当教員研究室/Office	環454（環境科学部4階）		
担当教員TEL/Tel	095-819-2731		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(事前にメールでアポイントメントをとること)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	① 論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） ② 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ③ ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要が有れば随時指示する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は基本的に対面形式で実施します。オンラインを用いる回については事前に連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	

授業計画詳細／Course Schedule

回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門：担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	大教センター教員による演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第5回	グループ分け、テーマの決定
第6回	グループワークの開始（１）
第7回	図書館資料収集ガイダンス（オンデマンド）
第8回	グループワーク（２）
第9回	大教センター教員による演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第10回	グループワーク（３）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（４）
第13回	【7/10（月）5校時】 就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク（５）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）

学期／Semester	2023年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	金／Fri 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	202305810030B4	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（環境）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	西久保　裕彦／HIROHIKO NISHIKUBO		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	西久保　裕彦／HIROHIKO NISHIKUBO		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	西久保　裕彦／HIROHIKO NISHIKUBO		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1，2，3，4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	h-nishikubo▲nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	環448（環境科学部実験棟4階）		
担当教員TEL/Tel	095-819-2717		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日12時から13時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	① 論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） ② 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ③ ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要が有れば随時指示する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility（for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則対面ですが、オンデマンドとリアルタイムオンラインの回もあります。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等（対面）
第2回	環境科学入門：担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど（対面）
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	大教センター教員による演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）（対面）
第5回	グループ分け、テーマの決定（対面）
第6回	グループワークの開始（１）（対面）
第7回	図書館資料収集ガイダンス（リアルタイムオンライン）
第8回	グループワーク（２）（対面）
第9回	大教センター教員による演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）（対面）
第10回	グループワーク（３）（対面）
第11回	中間報告（対面）
第12回	グループワーク（４）（対面）
第13回	【7/10（月）5校時】 就職委員会によるキャリア教育（リアルタイムオンライン）
第14回	グループワーク（５）（対面）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）（対面）

学期／Semester	2023年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	木／Thu 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	202305810030B5	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（環境）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	渡辺　貴史／Watanabe Takashi		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	渡辺　貴史／Watanabe Takashi		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	渡辺　貴史／Watanabe Takashi		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	twatanab▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	環430		
担当教員TEL/Tel	819-2718		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日12：00～12：40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	① 論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） ② 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ③ ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要が有れば随時指示する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は、原則、直接対面方式により実施する。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	

授業計画詳細／Course Schedule

回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門：担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	大教センター教員による演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第5回	グループ分け、テーマの決定
第6回	グループワークの開始（１）
第7回	図書館資料収集ガイダンス（オンデマンド）
第8回	グループワーク（２）
第9回	大教センター教員による演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第10回	グループワーク（３）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（４）
第13回	【7/10（月）5校時】 就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク（５）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）

学期／Semester	2023年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	月／Mon 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	202305810030B6	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（環境）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	黒田　暁／Satoru Kuroda		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	黒田　暁／Satoru Kuroda		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	黒田　暁／Satoru Kuroda		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1，2，3，4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	skuroda●nagasaki-u.ac.jp （●を半角@に代える）		
担当教員研究室/Office	環431		
担当教員TEL/Tel	095-819-2732		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜:10:30-12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	① 論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） ② 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ③ ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	演習への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋演習中に課す小課題（30点）＝合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要が有れば随時指示する。		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	環境科学部1年生前期必修の演習科目となります。高校までにはなかった 「ゼミナール形式」の演習を体感し、楽しみながら大学での学びの作法を身につけましょう。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則対面ですが、オンデマンド、リアルタイムオンラインの回もあります。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	

授業計画詳細／Course Schedule

回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等【対面】
第2回	環境科学入門：担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど【対面】
第3回	国際交流委員会による留学案内【オンデマンド】
第4回	大教センター教員による演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第5回	大学での調査・グループワーク事始め：グループ分け、テーマの決定①【対面】
第6回	大学での調査・グループワーク事始め：グループ分け、テーマの決定②【対面】
第7回	図書館資料収集ガイダンス【リアルタイムオンライン】
第8回	大学での調査・グループワーク事始め：グループワークの実施①【対面】
第9回	大教センター教員による演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第10回	大学での調査・グループワーク事始め：グループワークの実施②【対面】
第11回	大学での調査・グループワーク事始め:中間報告【対面】
第12回	大学での調査・グループワーク事始め:グループワークの実施③最終報告へ向けて【対面】
第13回	【7/10（月）5校時】 就職委員会によるキャリア教育
第14回	大学での調査・グループワーク事始め:グループワークの実施④:最終報告の準備【対面】
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）

学期／Semester	2023年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	月／Mon 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	202305810030B7	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（環境）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	菊池　英弘／Kikuchi Hidehiro		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	菊池　英弘／Kikuchi Hidehiro		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	菊池　英弘／Kikuchi Hidehiro		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hkikuchi▲nagasaki-ul.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	環境科学部４階４０６		
担当教員TEL/Tel	095-819-2725		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日13：00～14：00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	① 論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） ② 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ③ ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要が有れば随時指示する。		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面方式です。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門：担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	大教センター教員による演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第5回	グループ分け、テーマの決定
第6回	グループワークの開始（１）
第7回	図書館資料収集ガイダンス（オンデマンド）
第8回	グループワーク（２）
第9回	大教センター教員による演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第10回	グループワーク（３）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（４）
第13回	【7/10（月）5校時】 就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク（５）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）

学期／Semester	2023年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	木／Thu 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	202305810030B8	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（環境）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	吉田　護／Yoshida Mamoru		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	吉田　護／Yoshida Mamoru		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	吉田　護／Yoshida Mamoru		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	① 論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） ② 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ③ ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要が有れば随時指示する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	対面授業		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	

授業計画詳細／Course Schedule

回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門：担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	大教センター教員による演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第5回	グループ分け、テーマの決定
第6回	グループワークの開始（１）
第7回	図書館資料収集ガイダンス（オンデマンド）
第8回	グループワーク（２）
第9回	大教センター教員による演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第10回	グループワーク（３）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（４）
第13回	【7/10（月）5校時】 就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク（５）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）

学期／Semester	2023年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	月／Mon 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	202305810030B9	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（環境）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	高尾　雄二／Takao Yuji		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	高尾　雄二／Takao Yuji		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	高尾　雄二／Takao Yuji		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takao▲nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	環323		
担当教員TEL/Tel	819-2753		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日8：50～9：30		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	① 論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） ② 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ③ ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）		
キーワード/Keywords	科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要が有れば随時指示する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面で行います
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門：担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	大教センター教員による演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第5回	グループ分け、テーマの決定
第6回	グループワークの開始（１）
第7回	図書館資料収集ガイダンス（オンデマンド）
第8回	グループワーク（２）
第9回	大教センター教員による演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第10回	グループワーク（３）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（４）
第13回	【7/10（月）5校時】 就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク（５）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）

学期／Semester	2023年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	月／Mon 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	202305810030C1	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（環境）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	長江　真樹／Nagae Masaki		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	長江　真樹／Nagae Masaki		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	長江　真樹／Nagae Masaki		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nagae▲nagasaki-u.ac.jp（▲を@に変更して送信してください）		
担当教員研究室/Office	環境科学部3階　環309-2　長江教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2755		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜・火曜　9時～12時30分。これ以外の時間帯もメールでの対応可。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	① 論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） ② 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ③ ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要が有れば随時指示する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility（for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	基本的に教室（学生実験室B。環境科学部1階）での対面講義として実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	

授業計画詳細／Course Schedule

回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門：担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	大教センター教員による演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第5回	グループ分け、テーマの決定
第6回	グループワークの開始（１）
第7回	図書館資料収集ガイダンス（オンデマンド）
第8回	グループワーク（２）
第9回	大教センター教員による演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第10回	グループワーク（３）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（４）
第13回	【7/10（月）5校時】 就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク（５）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）

学期／Semester	2023年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	月／Mon 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	202305810030C2	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（環境）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	仲山　英樹／ Hideki NAKAYAMA		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	仲山　英樹／ Hideki NAKAYAMA		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	仲山　英樹／ Hideki NAKAYAMA		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nakayamah▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	環326　仲山教員室		
担当教員TEL/Tel	095-829-2750		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日の午前10時～12時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	① 論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） ② 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ③ ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要が有れば随時指示する。		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	グループワークを基本とするため、やむを得ない事情がない限り全回出席すること。講義に出席できない場合は、講義の開始前までに、仲山にメール（nakayamah▲nagasaki-u.ac.jp）で申告すること。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	講義は対面を原則とするが、第３回はオンデマンド、第７回はライブオンラインで実施する
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門：担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回【共通回】	【4/24（月)，27（木)，or 28（金）5校時】国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回【共通回】	大教センター教員による演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第5回	グループ分け、テーマの決定
第6回	グループワークの開始（１）
第7回【共通回】	【5/29（月)5校時】図書館資料収集ガイダンス（ライブオンライン）
第8回	グループワーク（２）
第9回【共通回】	大教センター教員による演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第10回	グループワーク（３）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（４）
第13回【共通回】	【7/10（月）5校時】 就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク（５）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）

学期／Semester	2023年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	金／Fri 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	202305810030C3	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（環境）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	井口　恵一朗／Iguchi Keiichiro		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	井口　恵一朗／Iguchi Keiichiro		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	井口　恵一朗／Iguchi Keiichiro		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	keyichi▲nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	環317		
担当教員TEL/Tel	095 819 2745		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールでアポイントメントを取ること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	① 論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） ② 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ③ ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要が有れば随時指示する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面で実施します
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門：担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	大教センター教員による演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第5回	グループ分け、テーマの決定
第6回	グループワークの開始（１）
第7回	図書館資料収集ガイダンス（オンデマンド）
第8回	グループワーク（２）
第9回	大教センター教員による演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第10回	グループワーク（３）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（４）
第13回	【7/10（月）5校時】 就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク（５）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）

学期／Semester	2023年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	月／Mon 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	202305810030C4	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（環境）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	岡田　二郎／Okada Jiro		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	岡田　二郎／Okada Jiro		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	岡田　二郎／Okada Jiro		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	jokada▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟本館227室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2762		
担当教員オフィスアワー/Office hours	平日 12：10～12：40（事前予約することが好ましい）		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	① 論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） ② 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ③ ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要が有れば随時指示する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility（for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は、原則対面で実施しますが、状況によっては変更する場合もあります。その場合は、LACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	

授業計画詳細／Course Schedule

回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門：担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	大教センター教員による演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第5回	グループ分け、テーマの決定
第6回	グループワークの開始（１）
第7回	図書館資料収集ガイダンス（オンデマンド）
第8回	グループワーク（２）
第9回	大教センター教員による演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第10回	グループワーク（３）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（４）
第13回	【7/10（月）5校時】 就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク（５）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）

学期／Semester	2023年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	月／Mon 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	202305810030C5	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（環境）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	武藤　鉄司／Tetuji Mutou		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	武藤　鉄司／Tetuji Mutou		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	武藤　鉄司／Tetuji Mutou		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1，2，3，4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tmuto▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	環境科学部本館２階　環211　武藤教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2769 (教員室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日２校時 事前にアポイントメントを取ること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	① 論理的・批判的に物事を考えることができる。（環境科学部DP-2） ② 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。（環境科学部DP-5） ③ ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。（環境科学部DP-2）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加（2点×15回＝30点）＋中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答（20点×2回＝40点）＋レポート（30点×1回）＝合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考（1h） 事後学習：グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味＋演習での教授事項の振り返り（復習）（1h）		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要が有れば随時指示する。		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	特に連絡しない限り、対面で実施する。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門：担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	大教センター教員による演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第5回	グループ分け、テーマの決定
第6回	グループワークの開始（１）
第7回	図書館資料収集ガイダンス（オンデマンド）
第8回	グループワーク（２）
第9回	大教センター教員による演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第10回	グループワーク（３）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（４）
第13回	【7/10（月）5校時】 就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク（５）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）